

“新しい町づくりのための..”

住民意識調査結果



調和ある発展を望む住民

新しい町づくりのための住民意識調査を全世帯（三、二六一世帯）を対象に、昭和五十六年八月一日現在で実施しました。

その結果、三千五十一世帯（九三・五六％）の回収がされ、集計に使用できたのは、二千九百七十世帯（九一・〇八％）でした。

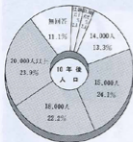
前回の広報で、意識調査結果の一部をみなさんにお知らせしましたが、今回も続いております。

六割が人口

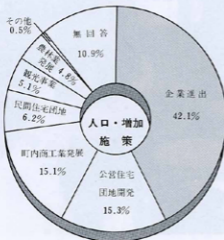
増加を望む

町の将来人口は、どうしたらよいか、ということについて、増加した方がよいが一、七三三件（五八・五％）、現状のままがよいが一、〇〇三件（三三・八％）、減少した方がよいが六六件（二・一％）です。

・10年後の人口は



・人口増加施策は



（二％）で、約六割の人が人口の増加を望んでいます。

また、十年後の人口は何人ぐらいがよいかという間については、

一、二、〇〇〇人以下 二・八％
一、三、〇〇〇人程度 二・六％

二、四、〇〇〇人程度 一三・三％
一五、〇〇〇人程度 二四・一％
一八、〇〇〇人程度 二二・二％
二〇、〇〇〇人以上 二三・九％
無回答 一一・一％
となつております。

人口増加は企業の進出で

将来人口を増加させる施策として、どのようなことを望んでいるかは、次のグラフのとおりです。

一番多いのが、工場や大型店等企業の進出で、つぎに公営住宅団地等の開発、町内商工業の発展、民間による住宅団地の開発となっております。いづれにしても、ほとんどの人が、積極的な施策を計画しなければ人口の増加は望めないと考えているようです。